

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	トヨタケム株式会社	事業所名	川越製造所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	専属便全車両にデジタコを搭載しCO2排出量の管理を行っている。Co2排出量等の結果について、運送会社責任者と情報共有している。また結果の悪かった乗務員に対しては原因と個別指導するように依頼している。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	CO2排出量データをもとに、運送会社配車責任者と1回/月打合せを実施し、情報交換をしている。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	運送会社に対してGマーク取得の確認をしている。また、環境関連法規(自動車NOx・PM法等)に適合した車両の使用を確認している。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	18L缶、ドラム、コンテナ、25Kg紙袋、フレコンバック等の規格形態での輸配送を実施。 トラック輸送用積荷仕切り板の材質変更推進(木製⇒樹脂製)。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	地方発送及び少ロット出荷品は路線混載便を活用。 グループ会社である東洋インキ埼玉製造所及び川口事業所各拠点から共同運送を実施。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	運送会社と車両台数等の基本契約を結んでいる。			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化                  ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>受注締め時間の明確化の推進を実施中、関連部門との連携を強化して緊急便出荷を低減させる。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化                  ( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>納品日前日の車両積み込みを実施している。翌早朝3時ごろ出発する策を以前実施していたが、労働条件緩和のため6時ごろとした配車計画を実施し、混雑回避を行っている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化                  ( 03 ) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>受注及び生産管理部門に対し発生の都度状況を報告し、できる限りまとめて納入を依頼することで締め間近の注文を無くし荷待ち時間削減に繋げている。</p>	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組                  ( )</p>	<p>グループ内関連事業所では、1日1便化を進めており輸送距離及び回数削減を推進している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進                  ( 01 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>専属契約車両にデジタコを搭載する費用を半額負担、車両更新時期には低燃費車への更新を推進し、導入割合を管理している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進                  ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>日常の自部門及び乗務員ミーティング時、また各業者責任者との安全・衛生会議を毎月開催し情報共有を図っている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進                  ( 03 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>専属契約車両に搭載されたデジタコデータを毎月集計し、乗務員に対し安全及びエコドライブの達成度を見える化しフィードバック教育を実施している。</p>	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	事業所内に荷捌き場、積み込み場、車両駐車スペースが確保されている。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ( )	物流専門の機能分社であるロジコネット(株)に委託している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ( )	グループ会社である東洋インキ埼玉製造所及び川口事業所各拠点から共同運送を実施。 北海道、九州方面はトラック輸送から船舶及びJR貨物輸送にシフトし、拡大している。	○	○	○

### 《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	トーヨーケム株式会社	事業所名	川越製造所				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	マイカー通勤に係る重点目標の設定 ( )	通勤時の交通災害の減少			○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	手帳サイズのバス時刻表を全従業員に行き渡る枚数分確保し食堂入口に設置する事で、希望者は直ぐに入手できる。			○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	川越事業所の正面に西武バスのバス停があり、川越駅と新所沢駅に直通で行けるため、自前の送迎バスは不要な環境である。			○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

02 公共交通機関への転換の推進 ----- (03) 公共交通機関利用者への優遇策	バス代を含む全ての公共交通機関の交通費は、通勤費として全額支給している。	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	条例に基づく リフレットの配布	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	十分な広さを確保して、雨よけ等を設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (03) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	全従業員に向けて更衣室の設置	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (01) 自家用自動車の通勤手当及び許可基準等通勤制度の見直し	通勤距離2km以上の従業員は自動車通勤の許可申請を受理している。自家用車通勤手当支給額を燃料消費率10km/Lから14km/L換算額へ変更。	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (04) テレワーク制度の導入	テレワーク制度あり。事業所としてもテレワークの実施を推奨している。	○	○	○
05 エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	・車での上乗客には、入門証でアイドリングストップを要請 ・車通勤者に対し、場内駐車場、誘導路にアイドリングストップ表示板で啓蒙活動実施	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 エコドライブの推進          ( 02 ) エコドライブ研修の実施</p>	<p>社内の安全運転講習会においてエコドライブは燃費向上以外に交通事故低減に効果的である啓蒙活動を行う。</p>	○	○	○
<p>06 従業員の通勤車両に関する低燃費車利用促進          ( 02 ) 低燃費車利用者への優遇策</p>	<p>ガソリン代金支給について、社内規定に基づく燃費計算で支給しているので、燃費の良い車で通勤しているとメリットが有る</p>	○	○	○
<p>07 時差通勤の実施          ( )</p>	<p>パート社員の出勤時間を30分刻みで設定し通勤時間の分散を図っている。</p>	○	○	○